



師

十字架と私

～2005年受難節～





十字架という事実

- 約2000年前に、パレスチナ地域にイエスという人物がいたことと、彼が十字架刑に処せられて殺されたことは**歴史的事実**である
- イエスの十字架という事実は、わたしにとってどんな意味を持っているのか





イエスは十字架によって

- 何かを成し遂げようとした
- 何かを伝えようとした





「それから、イエスは皆に言われた。『わたしについて来たい者は、自分を捨て、日々、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。』

<ルカ福音書 9:23>





自分を捨てる

- **プライド**: イエスは神の位を捨てた
- **夢や願い**: イエスは王になることさえ拒んだ
- **自分自身**: イエスは命まで捨てた





自分の十字架を背負う

- 「十字架」: 不都合・困難・苦しみ
- 「自分の」: 人それぞれの十字架
- 「背負う」: 自分の意志で担ぐ





イエスに従う

- 「日々」は「自分を捨てる」と「自分の十字架を背負う」の両方にかかる
- 何を捨て、何を背負うのか。
 - 普通は十字架を捨て、自分自身を背負って生きる
- イエスは、「わたしに従いなさい」と言い切れるお方である





十字架を背負った男

「そこへ、アレクサンドロとルフォスとの父でシモンというキレネ人が、田舎から出て来て通りかかったので、兵士たちはイエスの十字架を無理に担がせた。」 <マルコ15:21>





イエスの恵みの重さ

- 自分を捨て、自分の十字架を背負うとき、師であるイエスの恵みの重さを感じる
- 十字架にかかってくださったのはイエス御自身である

